

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公 告 日	令和4年7月5日	
工事番号	都建第45号	
工 種	管	
工 事 名	山手学校路線外消雪施設管路リフレッシュ工事	
施工場所	小矢部市 観音町外 地内	
工事完成期限	令和4年10月21日	
工事概要	施工延長 L=76.30m プレキャスト消雪工 L=66.00m 現場打消雪工(散水管VPφ150 L=2.50m、VPφ65 L=6.30m)・(送水管SGP150A L=1.50m) 不陸整正(補足材無し) A=74.00m ² 小規模舗装工 A=74.00m ²	
予定価格	5,095,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価値	・令和3・4年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の管工事において、A等級、B等級又はC等級に登録されている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和4年7月8日 から 令和4年7月15日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和4年7月20日 9時30分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和4年7月13日	
質問に対する回答期限	令和4年7月15日	

令和4年度

小建第45号

山手学校路線外消雪施設管路リフレッシュ工事

工事実施設計書

小矢部市

設 計 書

小矢部市

観音町外

地内

山手学校路線外消雪施設管路リフレッシュ工事

設計額 ￥ . ー

第 4 5 号	工事 大要	施工延長	L=	76.30	m				
		消雪工				舗装工			
		プレキャスト消雪工	L=	66.00	m	不陸整正(補足材なし)	A=	74	m ²
		現場打消雪工				小規模舗装工	A=	74	m ²
		散水管VP φ 150	L=	2.50	m				
		散水管VP φ 65	L=	6.30	m				
		送水管SGP 150A	L=	1.50	m				

特記仕様書

工事名：山手学校路線外消雪施設管路リフレッシュ工事

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書（富山県土木部）令和3年10月」によるものとし、第1編共通編1-1-2第6項に基づき、本工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、共通仕様書及び特記仕様書の他、これに付随する関係基準書等に基づいて適正に施工すること。

第2条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間

1 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。

①契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間

②工事の全部の施工を一時中止している期間

③工場制作を含む工事であって工場制作のみが行われる期間

④上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

2 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第3条 低入札となった場合における技術者の増員等

1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。

(1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合

専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。

(2) 建設業法の規定による技術者の専任配置が義務付けられていない工事の場合

同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。

2 1の(1)により別に配置されている技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。

第4条 工事材料の確認

下記の主要材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。

確認対象材料 消雪パイプ（プレキャスト）、現場打消雪配管材料

第5条 アスファルト混合物

本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。

上記によりがたい場合は、監督員との協議により再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用することができる。

第6条 コンクリート配合

使用目的別の配合諸元は次表のとおり。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	W/C (%)	C (kg/m ³)	セメントの種類	使用目的
1	30	8	25	55 以下	－	B・B	現場打消雪
2	18	8	25	65 以下	－	B・B	埋戻しコンクリート

第7条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は、第 6 条 コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して、水セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第8条 路盤工（人力施工）

受注者は、路盤の敷均しにあたり、材料の分離に注意し、一層の仕上がり厚が 1 5 cm を超えないように締め固めなければならない。

第9条 建設リサイクル法の対象工事

- 1 本工事は、「建設工事に係る資源の再資源化に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）の対象工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 請負者は建設リサイクル法第 12 条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員に説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・建築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
 - ・工事着手の時期及び工程の概要
 - ・分別解体等の計画
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等における建築資材量の見込み

- 3 本工事における特定建設資材（コンクリート、鉄及びコンクリートからなる建設資材、アスファルト・コンクリート）の分別解体等・再資源化については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は監督員と協議するものとする

(1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	土工	土工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	その他 (舗装撤去)	その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用

(2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び再資源化施設の場所

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	9.0m3
アスファルト塊	3.0m3
建設発生木材	— m3

※上記(2)については積算上の明示条件であり、再資源化施設を特定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。ただし、施設の受け入れが困難な場合等、請負者の責によるものでない事項については、この限りではない。

- 4 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は、「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）平成 14 年 6 月」に定めた様式 1「再生資源利用計画書（実施書）」及び様式 2「再生資源利用促進計画書（実施書）」に兼ねるも

のとする。

- ・再資源化が完了した年月日
- ・再資源化を行った施設の名称及び所在地
- ・再資源化に要した費用

- 5 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト）を監督員に提示するとともに、運搬・処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書に提示するものとする。

第10条 残土の処分地

残土の処分地は以下のとおりとする。なお、これによらない場合は監督員と協議するものとするが、やむを得ない場合を除き、処分地変更の場合は設計変更の対象としない。

種別	処分地
残土	安楽寺 地内

第11条 工程・地元調整関係

- 1 現場打消雪工の施工位置については監督員と協議すること。
- 2 住宅密集地のため、住民の出入りに支障のないように施工順序及び工程調整を図り、工事全体の施工順序がわかる資料を作成し監督員へ提出すること。
- 2 プレキャストパイプ布設区間では、原則休日及び夜間は通行止めとしないこと。
- 3 養生期間中の配管箇所において一般車両を通行させる必要があるは、その措置をとること。

第12条 産業廃棄物の適正処分

本工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処分しなければならず、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト）を監督員に提示するとともに、運搬・処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。また舗装切断作業の際、切断機械から発生するブレード冷却水と切削粉が混じりあった排水については産業廃棄物の汚泥として取り扱うこと。

第13条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数	0001 建設課 実施設計書 0	当初	
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 07 砺波地区 0-04. 06. 15(0)		
諸経費体系	1 公共		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	40 05 道路改良 01 割増なし 02 臨時低圧電力 12 補正無し 01 補正なし 00 通常 01 金銭的保証 00 計上しない 00 計上しない 10		

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0002

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
道路維持							Y1801
道路土工							Y280112
床掘工							Y38011201
床掘							Y4801120104
	床掘り 土砂 施工方法 上記以外(小規模)			式			SP2010 0 A=1, B=5
		2		m3			施工 第0-0001号表
	土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)						SP2002 0 A=2, B=6, C=1, D=1, O=5
		2		m3			施工 第0-0002号表
	処分費等						#0044
	公共用残土仮置場 (搬入)						TST01 0
		2		m3			

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物撤去工						Y280128
構造物取壊し工						Y38012805
コンクリート構造物取壊し						Y4801280501
舗装版切断工			式			S8711 0 A=1
床掘り 土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満	9	m				施工 第0-0003号表
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込	9	m3				SP2010 0 A=1, B=2, C=1, D=1
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬	1	式				施工 第0-0004号表
処分費等						SP2081 0 A=1, B=1, C=1, D=4
コンクリート廃材処理費	9	m3				施工 第0-0005号表
						S5099 0 A=1, B=0.35, C=9, E=17, F=1, G=1
						施工 第0-0006号表
						#0044
						TCN96 0

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
汚泥処理費（中間）泥水状						TDE08 0
	0.07	m3				
舗装版取壊工						Y4801280515
			式			
舗装版切断 アスファルト舗装版						SP4028 0 A=1, B=1, E=1
	153	m				施工 第0-0007号表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等 無し						SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1
	61	m2				施工 第0-0008号表
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込						SP2081 0 A=2, B=1, C=1, F=4
	3	m3				施工 第0-0009号表
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬						S5099 0 A=1, B=0.05, C=153, E=17, F=1, G=1
	1	式				施工 第0-0010号表
処分費等						#0044
アスファルト廃材処理費						TAK96 0
	3	m3				
汚泥処理費（中間）泥水状						TDE08 0
	0.18	m3				

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消雪工						Y280129
消雪工						Y38012901
プレキャスト消雪工						Y4801290101
プレキャストブロック据付 散水VP φ 150 Ⅱ型材公共 L=5500	44	m	式			W0001
プレキャストブロック据付 散水VP φ 65 Ⅱ型材公共 L=5500	22	m				W0001
上層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚150mm	12	m2				SP4004 0 A=2, D=150, E=1, H=2, J=1 施工 第0-0011号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	1	m3				SP2082 0 A=1, B=4, C=1, E=2, G=2, L=1 施工 第0-0012号表
目地板 瀝青繊維質 t = 10	2	m2				SP2076 0 A=2 施工 第0-0013号表
現場打消雪工						Y4801290102

式
小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消雪用塩ビ管（立上り管付） 散水150 L=5500 管据付、ノズル設置の機労材共 同径の接続管材料含む、ノズル材料含まず	2.5	m				TH904 0
消雪用塩ビ管（立上り管付） 散水65 L=5500 管据付、ノズル設置の機労材共 同径の接続管材料含む、ノズル材料含まず	6.3	m				TH900 0
鋼管(SGP-MN白) 150A ネジ付管	1.5	m				T5738 0
消雪パイプ保護コンクリート 配管 150A 車道部	4	m				S3341 0 A=5, B=1, C=0.7, D=1, E=2, F=1, G=1, H=1, I=2 施工 第0-0014号表
消雪パイプ保護コンクリート 配管 65A 車道部	6.3	m				S3341 0 A=1, B=1, C=0.7, D=1, E=2, F=1, G=1, H=1, I=2 施工 第0-0020号表
上層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚300mm	1	m2				SP4004 0 A=2, D=300, E=2, H=2, J=1 施工 第0-0021号表
消雪工ノズル 散水穴開閉式 シングル用 オールステンレス製	5	個				T5701 0
エルボ(∠90°) 150A ねじ入式可鍛鉄製	4	個				T5758 0
TSエルボ φ150	4	個				W0001

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
TSエルボ φ 65							W0001
		1		個			
接続チーズ φ 65× φ 50							W0001
		1		個			
ストラブカップリング Fタイプ φ 150 SUS304(埋設用)							TU204 0
		2		個			
ストラブカップリング Fタイプ φ 65 SUS304(埋設用)							TU200 0
		2		個			
ストラブカップリング Fタイプ φ 50 SUS304(埋設用)							W0001
		1		個			
PVCボールバルブ φ 65							W0001
		1		個			
バルブボックス 雪マーク付							W0001
		1		個			
舗装工							Y280111
アスファルト舗装工							Y38011101

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	不陸整正 補足材料 無し						SP4001 0 A=1
		74	m2				施工 第0-0022号表
							TA004 0
	小規模アスファルト舗装（施工費） 施工面積 50m2≦A<100m2						
		1	箇所				
							S4038 0 A=2, B=1, C=5, D=7, E=2
	小規模アスファルト舗装（材料費） 表層工 車道及び路肩						
		74	m2				施工 第0-0023号表
直接工事費							
共通仮設費 （率分）							
				式			
共通仮設費計							
純工事費							
現場管理費							
				式			
現場管理費計							

小 矢 部

本工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価							
一般管理費等							
工事価格				式			
消費税等相当額							
請負対象工事費				式			
工事価格計							
消費税等相当額計							
請負対象工事費計				式			

施 工 内 訳 表

SP2010

施工 第0-0001号表

[名 称] 床掘り			1 m3 当り		
[規格1] 土砂			[規格2] 施工方法 上記以外(小規模)		
機械構成比： 22.07%			標準単価： 1,986		
労務構成比： 70.62%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 7.31%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ	22.07%		バックホウ		MHH130
特殊運転手	38.15%		運転手(特殊) 東京単価		R2002
普通作業員	32.47%		普通作業員 東京単価		R2006
軽油 (パトロール)	7.31%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=5 上記以外(小規模)		

[illegible]

S8711

施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号表

頁0-0012

[名 称] 舗装版切断工		[規格1]		[規格2]		100	m	当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
普通作業員			人				R2006	
コンクリートカッタ運転 (機-23)			日				S1610	
コンクリートカッタ運転 (機-23)			日				S1610	
ダイヤモンドブレード 径35cm	1.02		枚				T3696	
ダイヤモンドブレード 径56cm	0.70		枚				T3663	
ダイヤモンドブレード 径75cm	0.74		枚				T3665	
ダイヤモンドブレード 径96cm	0.73		枚				T3669	
諸雑費			%				#09	
合計	100		m					
単位当り	1		m					
A=1 30cmを超え40cm以下								

小 矢 部

SP2010

施 工 内 訳 表

施工 第0-0004号表

[名 称] 床掘り			1 m3 当り		
[規格1] 土砂			[規格2] 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満		
機械構成比： 22.31%			標準単価： 255.59		
労務構成比： 63.16%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 14.53%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ賃料 クローラ型 [後方超小旋回型] 山積 0.45m3(	22.31%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 [後方超小旋回型] 山積0.45m3 (平積0.35m3)		T7255
特殊運転手	63.16%		運転手 (特殊) 東京単価		R2002
軽油 (パトロール)	14.53%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式 無し			B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害 無し		

施 工 内 訳 表

[名 称] 殻運搬			1 m3 当り		
[規格 1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし			[規格 2] 機械積込		
機械構成比： 43.38%			標準単価： 1,391.5		
労務構成比： 41.88%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 14.74%					
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)
ダンプトラック		43.38%		ダンプトラック	M1450
一般運転手		41.88%		運転手 (一般) 東京単価	R2015
軽油 (パトロール)		14.74%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油	T3002
積算単価				積算単価	EP001
A=1 コンクリート(無筋)構造物とりこわし				B=1 機械積込	
C=1 DID区間 無し				D=4 8.0km以下	

施 工 内 訳 表

[名 称] 舗装切断排水運搬費					
[規格1] 2tダンプトラック運搬			[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032
単位当り	1	式			
A=1 当初 C=9 舗装版切断延長 1 (m) F=1 DID区間なし			B=0.35 E=17 G=1	アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) 片道運搬距離 L (km) 良好	

施 工 内 訳 表

SP4028

施工 第0-0007号表

[名 称] 舗装版切断			[規格 2]			1	m	当り
[規格 1] アスファルト舗装版								
機械構成比： 6.24%			労務構成比： 54.57%			材料構成比： 39.19%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 562.41		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)		単 価 (東京地区)	備 考	
コンクリートカッタ		4.22%		コンクリートカッタ			M2002	
その他(機械)				その他(機械)			EK009	
特殊作業員		19.07%		特殊作業員 東京単価			R2005	
土木一般世話役 一般施工		9.53%		土木一般世話役 東京単価			R2008	
普通作業員		8.29%		普通作業員 東京単価			R2006	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
ダイヤモンドブレード 径56cm		36.35%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ			T3663	
ガソリン JIS2号レギュラ		1.92%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド			T3004	
その他(材料)				その他(材料)			EZ009	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 E=1	アスファルト舗装版 全ての費用			B=1	15cm以下			

施 工 内 訳 表

SP4027

施工 第0-0008号表

[名 称] 舗装版破碎			[規格 2] 障害等 無し			1	m2	当り
[規格 1] アスファルト舗装版			[規格 2] 障害等 無し					
機械構成比： 9.68%			労務構成比： 82.20%			材料構成比： 8.12%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 167.88		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考	
バックホウ賃料		9.68%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積0.45m3 (平積0.35m3)			T7275	
土木一般世話役 一般施工		28.85%		土木一般世話役 東京単価			R2008	
特殊運転手		28.25%		運転手 (特殊) 東京単価			R2002	
普通作業員		25.10%		普通作業員 東京単価			R2006	
軽油 (パトロール)		8.12%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1	アスファルト舗装版			B=1	障害等 無し			
C=1	騒音振動対策 不要			D=4	15cm以下			
F=1	積込作業 有り							

施 工 内 訳 表

SP2081

施工 第0-0009号表

[名 称] 殻運搬			1 m3 当り		
[規格 1] コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし			[規格 2] 機械積込		
機械構成比: 43.38%			標準単価: 1,727.4		
労務構成比: 41.88%			市場単価構成比: 0.00%		
材料構成比: 14.74%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック	43.38%		ダンプトラック		M1450
一般運転手	41.88%		運転手 (一般) 東京単価		R2015
軽油 (パトロール)	14.74%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし DID区間 無し		B=1 F=4	機械積込 8.0km以下	

施 工 内 訳 表

[名 称] 舗装切断排水運搬費					
[規格1] 2tダンプトラック運搬			[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	式			
A=1 当初 C=153 舗装版切断延長 1 (m) F=1 DID区間なし			B=0.05 アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) E=17 片道運搬距離 L (km) G=1 良好		

施 工 内 訳 表

頁0-0020

SP4004

施工 第0-0011号表

[名 称] 上層路盤（車道・路肩部） [規格1] 全仕上り厚150mm			[規格2]			1	m2	当り
機械構成比： 10.38%			労務構成比： 30.75%			材料構成比： 58.87%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 543.99		
代 表 機 労 材 規 格		構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考	
モータグレーダ		4.20%		モータグレーダ			MHH601	
マカダムローラ		3.25%		マカダムローラ			MHH705	
タイヤローラ賃料		1.06%		タイヤローラ 東京単価 質量8～20t			T7390	
その他(機械)				その他(機械)			EK009	
特殊運転手		14.14%		運転手（特殊） 東京単価			R2002	
特殊作業員		4.97%		特殊作業員 東京単価			R2005	
普通作業員		4.74%		普通作業員 東京単価			R2006	
土木一般世話役 一般施工		1.36%		土木一般世話役 東京単価			R2008	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
粒調碎石 M40		56.09%		再生粒度調整碎石 東京単価 RM-40 平均仕上がり厚 150mm			T4051	
軽油 (パトロール)		2.28%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油			T3002	

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP4004

施工 第0-0011号表

[名 称] 上層路盤（車道・路肩部）			1 m2 当り		
[規格1] 全仕上り厚150mm			[規格2]		
機械構成比： 10.38%			標準単価： 543.99		
労務構成比： 30.75%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 58.87%					
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単 価(東京地区)
その他(材料)				その他(材料)	EZ009
積算単価				積算単価	EP001
A=2	粒度調整碎石			D=150	全仕上り厚 (mm)
E=1	1層施工			H=2	粒度調整碎石 M-40
J=1	全ての費用				

施 工 内 訳 表

SP2082

施工 第0-0012号表

頁0-0022

[名 称] コンクリート			[規格 2] 人力打設			1	m3	当り
[規格 1] 無筋・鉄筋構造物			市場単価構成比： 0.00%			標準単価： 23,052		
機械構成比： 0.00%			労務構成比： 31.75%			材料構成比： 68.25%		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)		単 価 (東京地区)	備 考	
普通作業員		15.01%		普通作業員 東京単価			R2006	
特殊作業員		8.43%		特殊作業員 東京単価			R2005	
土木一般世話役 一般施工		6.10%		土木一般世話役 東京単価			R2008	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
生コンクリート 高炉18ー 8ー25 W/C≤65%		68.25%		生コンクリート 東京単価 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%			T4026	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1	無筋・鉄筋構造物			B=4	人力打設			
C=1	高炉18ー 8ー25 W/C≤65%			E=2	一般養生			
G=2	現場内小運搬 無し			L=1	生コン小型車割増なし			

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2076

施工 第0-0013号表

頁0-0023

[名 称] 目地板 [規格 1] 瀝青纖維質 t =10 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 38.61% 材料構成比： 61.39%			[規格 2] 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,934.2		
代 表 機 労 材 規 格			代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		
普通作業員			普通作業員 東京単価		
土木一般世話役 一般施工			土木一般世話役 東京単価		
目地板 纖維質 t=10mm			瀝青纖維質目地板 東京単価 厚さ 1 0 m m		
積算単価			積算単価		
A=2 瀝青纖維質 t =10					

小 矢 部

S3341

施 工 内 訳 表

施工 第0-0014号表

頁0-0024

[名 称] 消雪パイプ保護コンクリート					55	m	当り
[規格 1] 配管 150A					[規格 2] 車道部		
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
コンクリート 小型構造物 人力打設		5.56	m3			SP2082	施工 第0-0015号表
型枠 一般型枠 小型構造物		38.50	m2			SP2084	施工 第0-0016号表
鉄筋工 SD295 D13 一般構造物		214.52	kg			SS001	施工 第0-0017号表
鉄筋工 SD295 D10 一般構造物		268.86	kg			SS001	施工 第0-0018号表
目地板 繊維質 t=10mm		1.23	m2			T5266	
路盤紙 1m×50m		19.25	m2			T3300	
基面整正		19.25	m2			SP2012	施工 第0-0019号表
合計		55	m				
単位当り		1	m				
A=5 C=0.7 E=2	配管 150A 単位型枠の数量 (m2) m当り 基面整正あり			B=1 D=1 F=1	一般養生 基礎材無し 車道部		
G=1 I=2	高炉 総量10t未満			H=1	生コン小型車割増なし		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2082

施工 第0-0015号表

頁0-0025

[名 称] コンクリート			[規格 2] 人力打設			1	m3	当り
[規格 1] 小型構造物			市場単価構成比： 0.00%			標準単価： 28,111		
機械構成比： 0.00%			労務構成比： 44.55%			材料構成比： 55.45%		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考	
普通作業員		25.54%		普通作業員 東京単価			R2006	
特殊作業員		8.75%		特殊作業員 東京単価			R2005	
土木一般世話役 一般施工		7.99%		土木一般世話役 東京単価			R2008	
その他(労務)				その他(労務)			ER009	
生コンクリート 高炉30ー 8ー25 W/C≤55%		55.45%		生コンクリート 東京単価 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TC041	
積算単価				積算単価			EP001	
A=2 小型構造物 C=17 高炉30ー 8ー25 W/C≤55% G=2 現場内小運搬 無し				B=4 人力打設 E=2 一般養生 L=1 生コン小型車割増なし				

小 矢 部

施 工 内 訳 表

頁0-0026

SP2084

施工 第0-0016号表

[名 称] 型枠			1 m2 当り		
[規格1] 一般型枠			[規格2] 小型構造物		
機械構成比： 0.00%			標準単価： 7,775.2		
労務構成比： 100.00%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 0.00%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型枠工	45.16%		型わく工 東京単価		R2030
普通作業員	30.69%		普通作業員 東京単価		R2006
土木一般世話役 一般施工	11.11%		土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠			B=2 小型構造物		

小 矢 部

SS001

施 工 内 訳 表

施工 第0-0017号表

頁0-0027

[名 称] 鉄筋工		[規格 1] SD295 D13				[規格 2] 一般構造物		1000	kg	当り
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単	価	金 額	備 考			
異形棒鋼(SD295A) 径 13mm		1.03	t				T3162			
鉄筋工 一般構造物		1.00	t				TS111			
合計		1,000	kg							
単位当り		1	kg							
A=2	SD295 D13			C=1	一般構造物					
D=2	総量10 t 未満			E=1	時間的制約なし					
F=1	標準 (昼間)			G=1	一般部					
H=1	太径鉄筋10%未満			I=1	補正無 (一般構造物)					

施 工 内 訳 表

[名 称] 鉄筋工		[規格 1] SD295 D10				[規格 2] 一般構造物		1000	kg	当り	
名 称 ・ 規 格 な ど		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
異形棒鋼(SD295A) 径 10mm		1.03		t						T4505	
鉄筋工 一般構造物		1.00		t						TS111	
合計		1,000		kg							
単位当り		1		kg							
A=1	SD295 D10					C=1	一般構造物				
D=2	総量10 t 未満					E=1	時間的制約なし				
F=1	標準 (昼間)					G=1	一般部				
H=1	太径鉄筋10%未満					I=1	補正無 (一般構造物)				

施 工 内 訳 表

SP2012

施工 第0-0019号表

[名 称] 基面整正			[規格 1]			[規格 2]			1	m2	当り			
機械構成比： 0.00%			労務構成比： 100.00%			材料構成比： 0.00%			市場単価構成比： 0.00%			標準単価： 430		
代 表 機 労 材 規 格				構成比	単 価		代 表 機 労 材 規 格(東京地区)				単価(東京地区)		備 考	
普通作業員				100.00%			普通作業員 東京単価						R2006	
積算単価							積算単価						EP001	

S3341

施 工 内 訳 表

施工 第0-0020号表

頁0-0030

[名 称] 消雪パイプ保護コンクリート			[規格1] 配管 65A			[規格2] 車道部			55	m	当り
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考					
コンクリート 小型構造物 人力打設		6.49	m3			SP2082	施工	第0-0015号表			
型枠 一般型枠 小型構造物		38.50	m2			SP2084	施工	第0-0016号表			
鉄筋工 SD295 D13 一般構造物		214.52	kg			SS001	施工	第0-0017号表			
鉄筋工 SD295 D10 一般構造物		268.86	kg			SS001	施工	第0-0018号表			
目地板 繊維質 t=10mm		1.23	m2			T5266					
路盤紙 1m×50m		19.25	m2			T3300					
基面整正		19.25	m2			SP2012	施工	第0-0019号表			
合計		55	m								
単位当り		1	m								
A=1 C=0.7 E=2	配管 65A 単位型枠の数量 (m2) m当り 基面整正あり			B=1 D=1 F=1	一般養生 基礎材無し 車道部						
G=1 I=2	高炉 総量10t未満			H=1	生コン小型車割増なし						

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP4004

施工 第0-0021号表

[名 称] 上層路盤（車道・路肩部） [規格1] 全仕上り厚300mm			[規格2]		
機械構成比： 12.81%			労働構成比： 37.86%		
材料構成比： 49.33%			市場単価構成比： 0.00%		
			標準単価： 886.35		
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ	5.18%		モータグレーダ		MHH601
マカダムローラ	4.01%		マカダムローラ		MHH705
タイヤローラ賃料	1.31%		タイヤローラ 東京単価 質量8～20t		T7390
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	17.44%		運転手（特殊） 東京単価		R2002
特殊作業員	6.10%		特殊作業員 東京単価		R2005
普通作業員	5.82%		普通作業員 東京単価		R2006
土木一般世話役 一般施工	1.67%		土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)			その他(労務)		ER009
粒調碎石 M40	45.91%		再生粒度調整碎石 東京単価 RM-40 平均仕上がり厚 200mm		T4051
軽油 (パトロール)	2.81%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP4004

施工 第0-0021号表

[名 称] 上層路盤（車道・路肩部）			[規格 2]			1	m2	当り
[規格 1] 全仕上り厚300mm								
機械構成比： 12.81%			労務構成比： 37.86%			材料構成比： 49.33%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 886.35		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考	
その他(材料)				その他(材料)			EZ009	
積算単価				積算単価			EP001	
A=2	粒度調整碎石			D=300	全仕上り厚 (mm)			
E=2	2層施工			H=2	粒度調整碎石 M-40			
J=1	全ての費用							

施 工 内 訳 表

SP4001

施工 第0-0022号表

頁0-0033

[名 称] 不陸整正			[規格 2]		
[規格 1] 補足材料 無し			1 m2 当り		
機械構成比： 25.67%			標準単価： 112.53		
労務構成比： 67.46%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 6.87%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ	12.66%		モータグレーダ		MHH601
マカダムローラ	9.81%		マカダムローラ		MHH705
タイヤローラ賃料	3.20%		タイヤローラ 東京単価 質量8～20 t		T7390
特殊運転手	42.61%		運転手(特殊) 東京単価		R2002
特殊作業員	13.11%		特殊作業員 東京単価		R2005
普通作業員	9.55%		普通作業員 東京単価		R2006
土木一般世話役 一般施工	2.19%		土木一般世話役 東京単価		R2008
軽油 (パトロール)	6.87%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 補足材料 無し					

小 矢 部

施 工 内 訳 表

頁0-0034

小 矢 部

機 労 材 集 計 表

頁0-0035

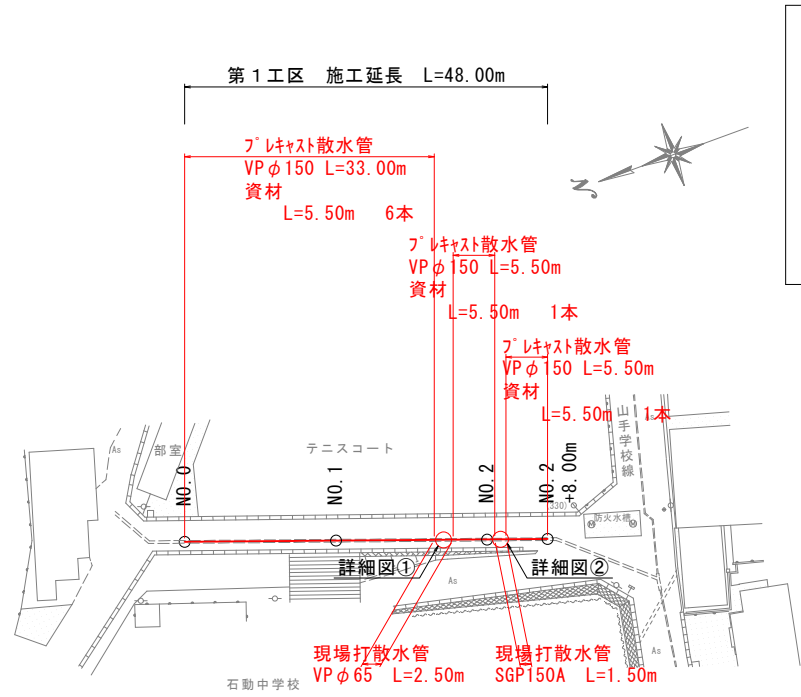
項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K2541	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
2	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
3	M2003	193			コンクリートカッタ	路盤舗装等損料
4	M2004	193			コンクリートカッタ	路盤舗装等損料
5	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
6	R2006	12			普通作業員	普通作業員
7	R2015	19			一般運転手	一般運転手
8	T3002	66			軽油	軽油
9	T3004	65			ガソリン	ガソリン
10	T3019	78			アスファルト乳剤	アス乳剤
11	T3162	137		0.0414	異形棒鋼(SD295A)	棒鋼
12	T3300	182		3.605	路盤紙	その他舗装材
13	T3663	198		0.063	ダイヤモンドブレード	消耗品費
14	T3665	198		0.0666	ダイヤモンドブレード	消耗品費
15	T3669	198		0.0657	ダイヤモンドブレード	消耗品費
16	T3926	72		9.62	アスファルト合材 再生材入り	密粒13～20 F
17	T4505	137		0.0519	異形棒鋼(SD295A)	棒鋼
18	T5266	169		0.2303	目地板	目地材等
19	T5701	175		5	消雪工ノズル 散水穴開閉式	雪寒関係品
20	T5738	174		1.5	鋼管(SGP-MN白)	消雪工管材料
21	T5758	174		4	エルボ(∠90°)	消雪工管材料
22	TA004	200		1	小規模アスファルト舗装(施工費)	
23	TAK96	189		3	アスファルト廃材処理費	投棄料
24	TCN96	189		9	コンクリート廃材処理費	投棄料
25	TDE08	189		0.25	汚泥処理費(中間)泥水状	投棄料
26	TH900	201		6.3	消雪用塩ビ管(立上り管付)	消雪パイプ(現場打ち) 施工単価
27	TH904	201		2.5	消雪用塩ビ管(立上り管付)	消雪パイプ(現場打ち) 施工単価
28	TS111	200		0.0905	鉄筋工	
29	TST01	189		2	公共用残土仮置場(搬入)	投棄料
30	TU200	174		2	ストラブカップリング	消雪工管材料
31	TU204	174		2	ストラブカップリング	消雪工管材料
32	WXXXX	966				

参考様式

工 事 数 量 総 括 表

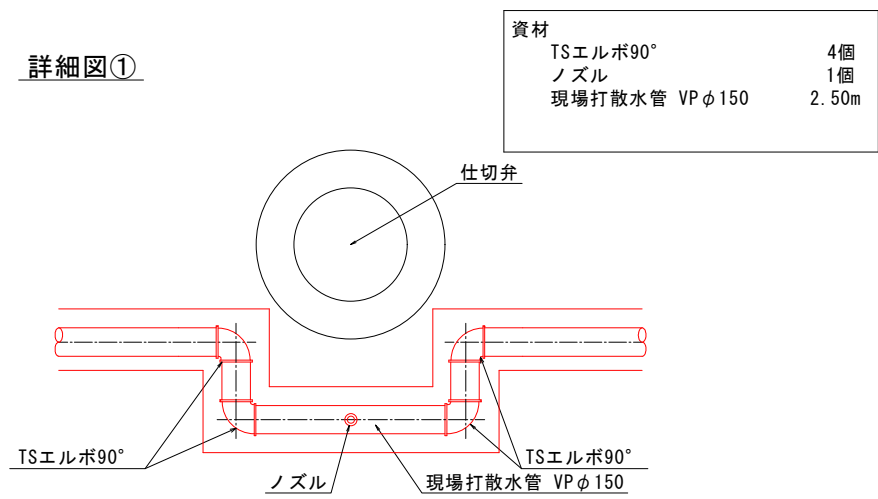
工事区分(レベル1)		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
工種(レベル2)							
種別(レベル3)							
細別(レベル4)							
散水φ150 L=46.50m (プレキャスト 44.00m、VP 2.50m)							
散水φ65 L=28.30m (プレキャスト 22.00m、現場打 6.30m)							
送水150A L=1.50m (SGP 1.50m)							
合計 L=76.30m							
既設消雪撤去延長 L=76.30m							
土工			式		1		
床掘工			式		1		
床掘			m3		2	76.3*0.03=2.29	
残土処理			m3		2		
構造物撤去工							
コンクリート構造物取壊工			式		1		
切断			m		9	76.3/3.0*0.35=8.9	
床掘			m3		9	76.3*0.35*0.35=9.34	
運搬処分			m3		9		
カッター排水処分			式		1		
舗装版取壊工			式		1		
舗装版切断			m		153	76.3*2=152.6	
舗装版掘削			m2		61	(1.15-0.35)*76.3=61.04	
舗装版運搬処理			m3		3	61*0.05=3.05	
カッター排水処分			式		1		
消雪工			式		1		
プレキャスト消雪工			式		1		
プレキャストブロック据付		散水φ150,L=5500	m		44		
プレキャストブロック据付		散水φ65,L=5500	m		22		
上層路盤		粒調碎石M-40	m ²		12	66*0.175=11.55	
コンクリート		18-8-25 W/C≤65%	m3		1	(44*0.020)*(22*0.015)=1.21	
目地板			m ²		2	(44/5.5)*(0.40*0.40)+(22/5.5)*(0.35*0.35)=1.77	
現場打消雪			式		1		
消雪用塩ビ管 散水管		φ150	m		2.5		
消雪用塩ビ管 散水管		φ65	m		6.3		
鋼管(SGP白)		150A	m		1.5		
保護コンクリート		φ150	m		4	2.5+1.5=4.0	
保護コンクリート		φ65	m		6.3		
上層路盤		粒調碎石M-40	m ²		1	10.3*0.1=1.03	
消雪エノズル		両面4穴	個		5		
エルボ		150A,90°	個		4		
TSエルボ		φ150,90°	個		4		
TSエルボ		φ65,90°	個		1		
接続チーズ		φ65×φ50	個		1		
ストラブカップリング		φ150	個		2		
ストラブカップリング		φ65	個		2		
ストラブカップリング		φ50	個		1		
PVCボールバルブ		φ65	個		1		
バルブボックス		雪マーク付	個		1		
舗装工			式		1		
As舗装工			式		1		
不陸整正			m2		74	66*(1.15-0.15)+10.3*(1.15-0.35)=74.24	
小規模舗装工		密粒度AC20F t=5cm	m2		74	同上	

計画平面図 S=1:500

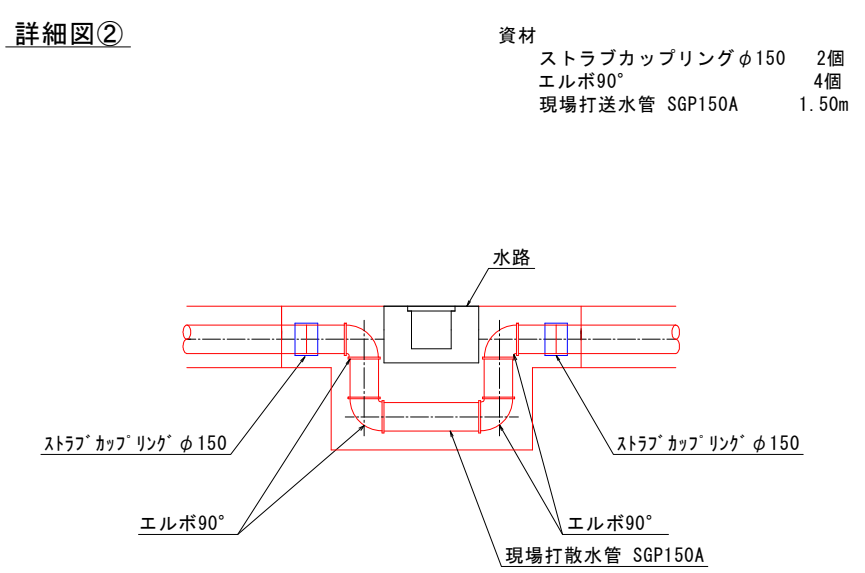


施工延長L=48.00m	
プレキャスト散水管VPφ150	44.00m
現場打散水管VPφ150	2.50m
現場打散水管SGPφ150	1.50m

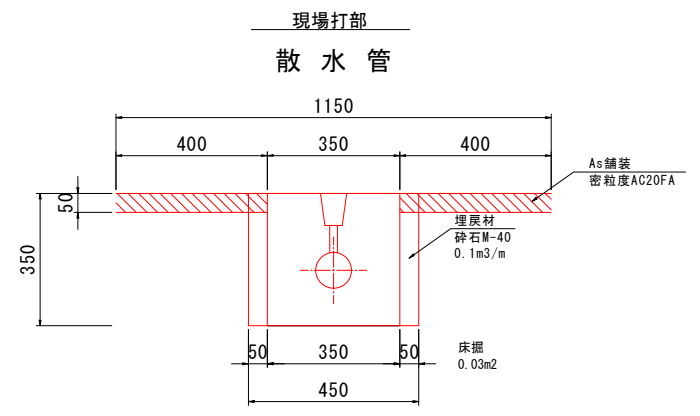
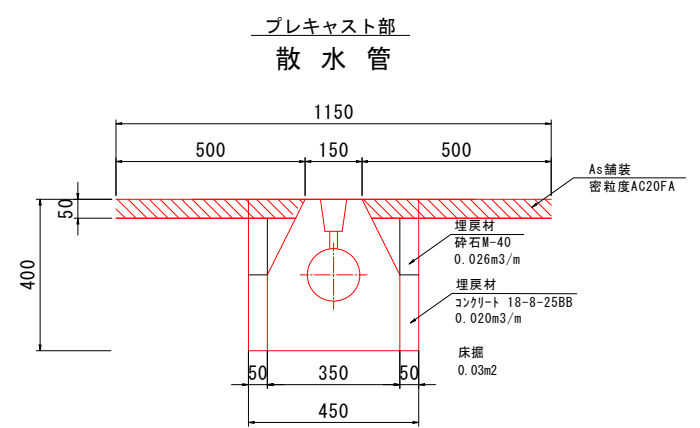
水路断面図 S=1/20



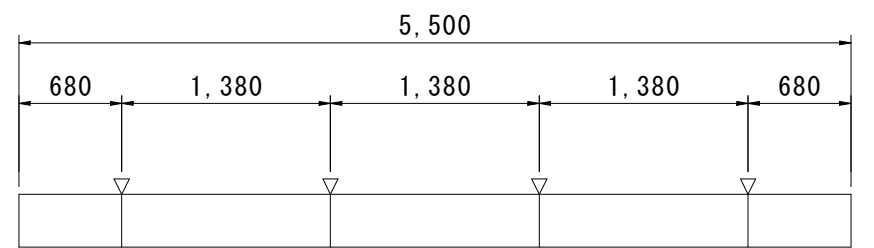
迂回部詳細図 S=1/20



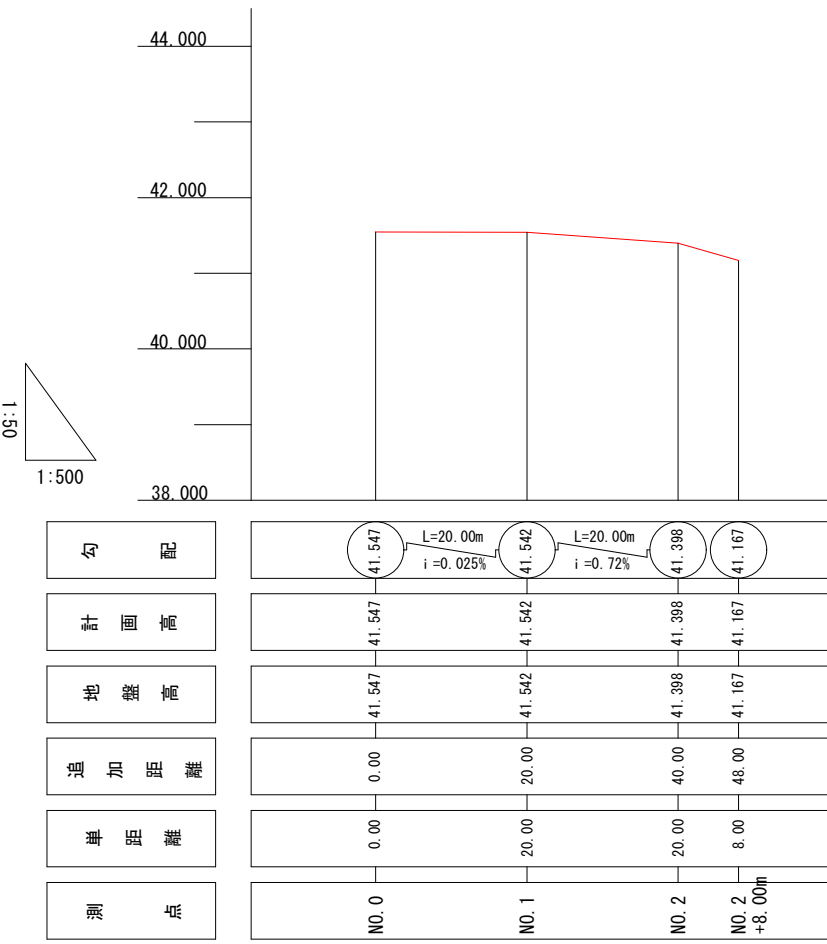
標準断面図 S=1/10



散水用ノズル位置



縦断面図

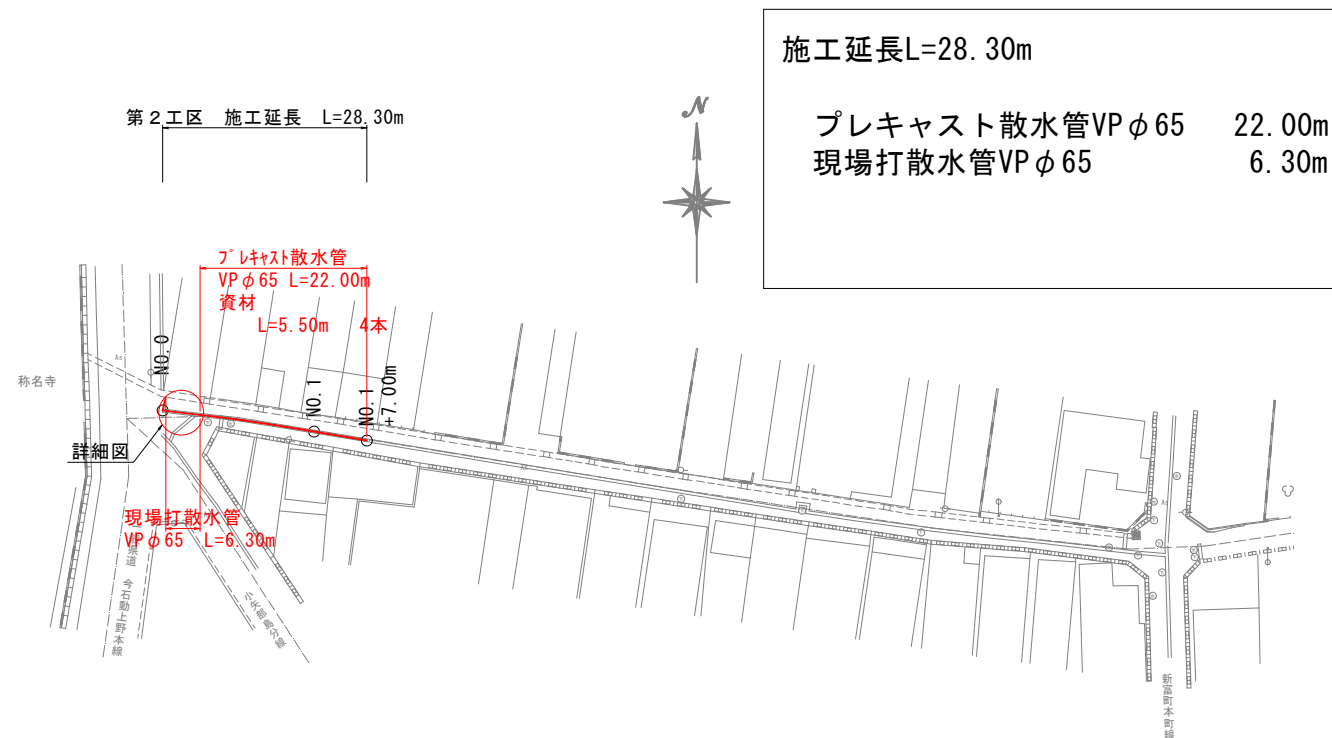


勾配	41.547	41.542	41.398	41.167
計画高	41.547	41.542	41.398	41.167
地盤高	41.547	41.542	41.398	41.167
追加距離	0.00	20.00	40.00	48.00
単距離	0.00	20.00	20.00	8.00
測点	NO.0	NO.1	NO.2	NO.2 +8.00m

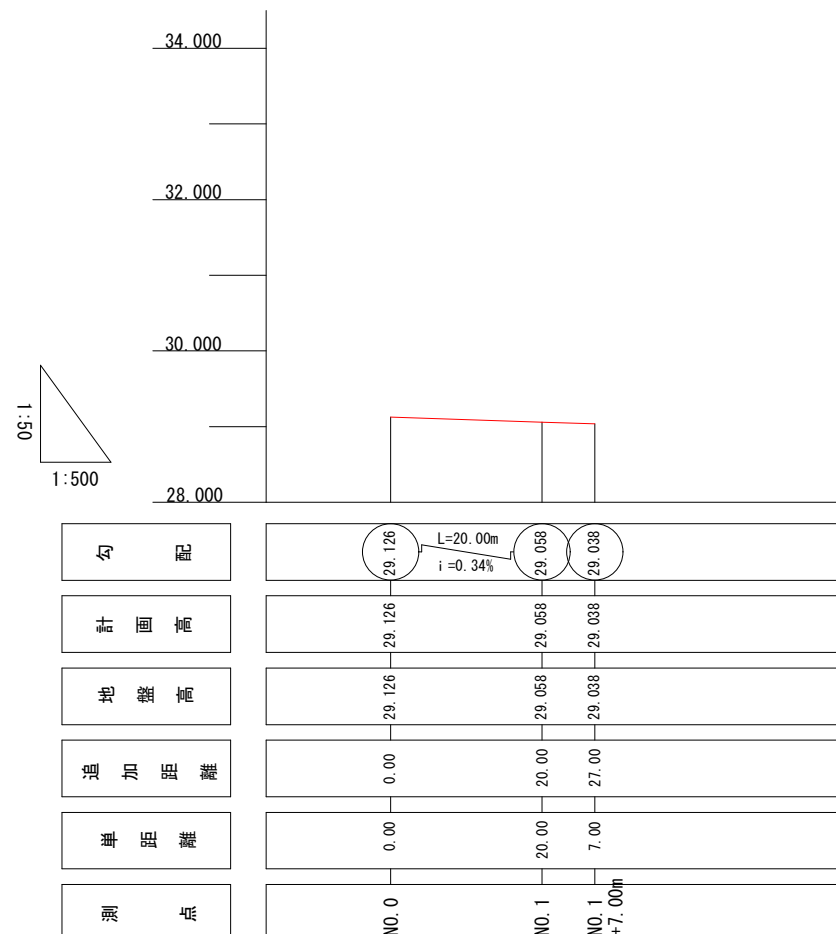
第1工区

工事名	山手学校路線外消雪施設管路リフレッシュ工事		
図面名	計画平面図・縦断面図・詳細図・標準断面図		
作成年月日	令和4年6月		
縮尺	図示	図面番号	1/2
事業者名	小矢部市		

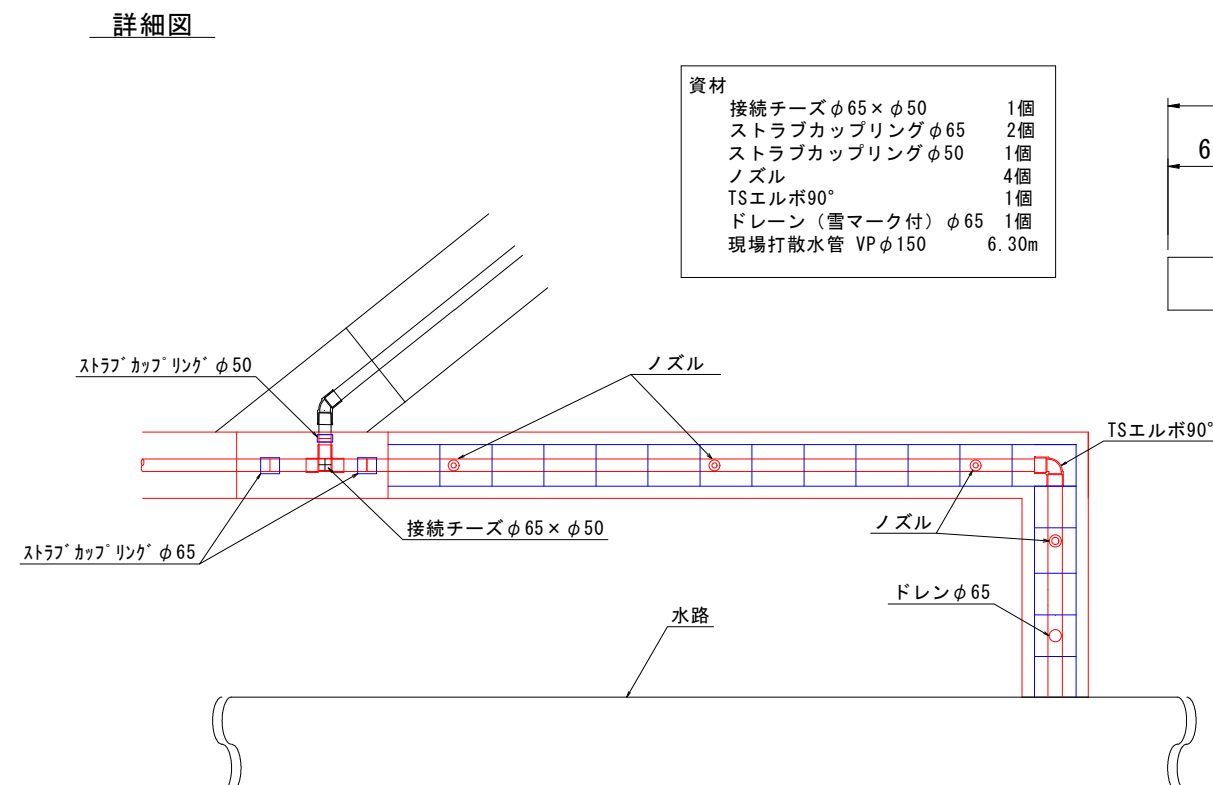
計 画 平 面 図 S=1:500



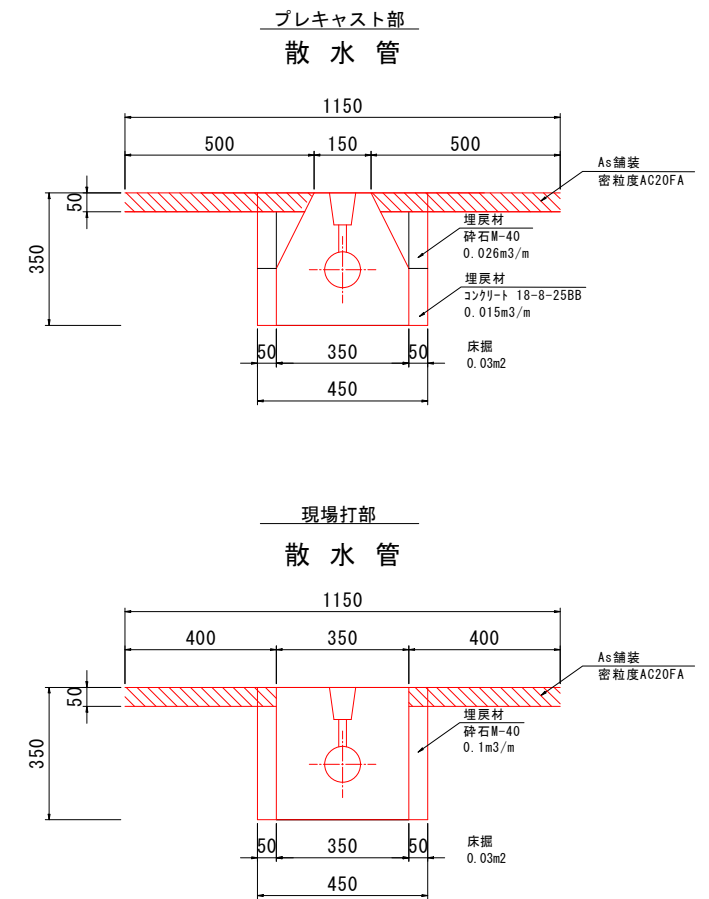
縦断面図



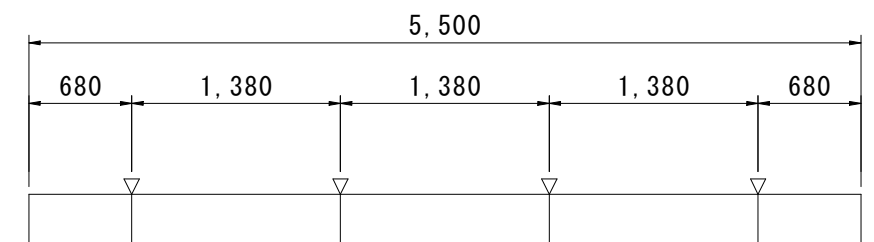
現場打詳細図 S=1/20



標準断面図 S=1/10

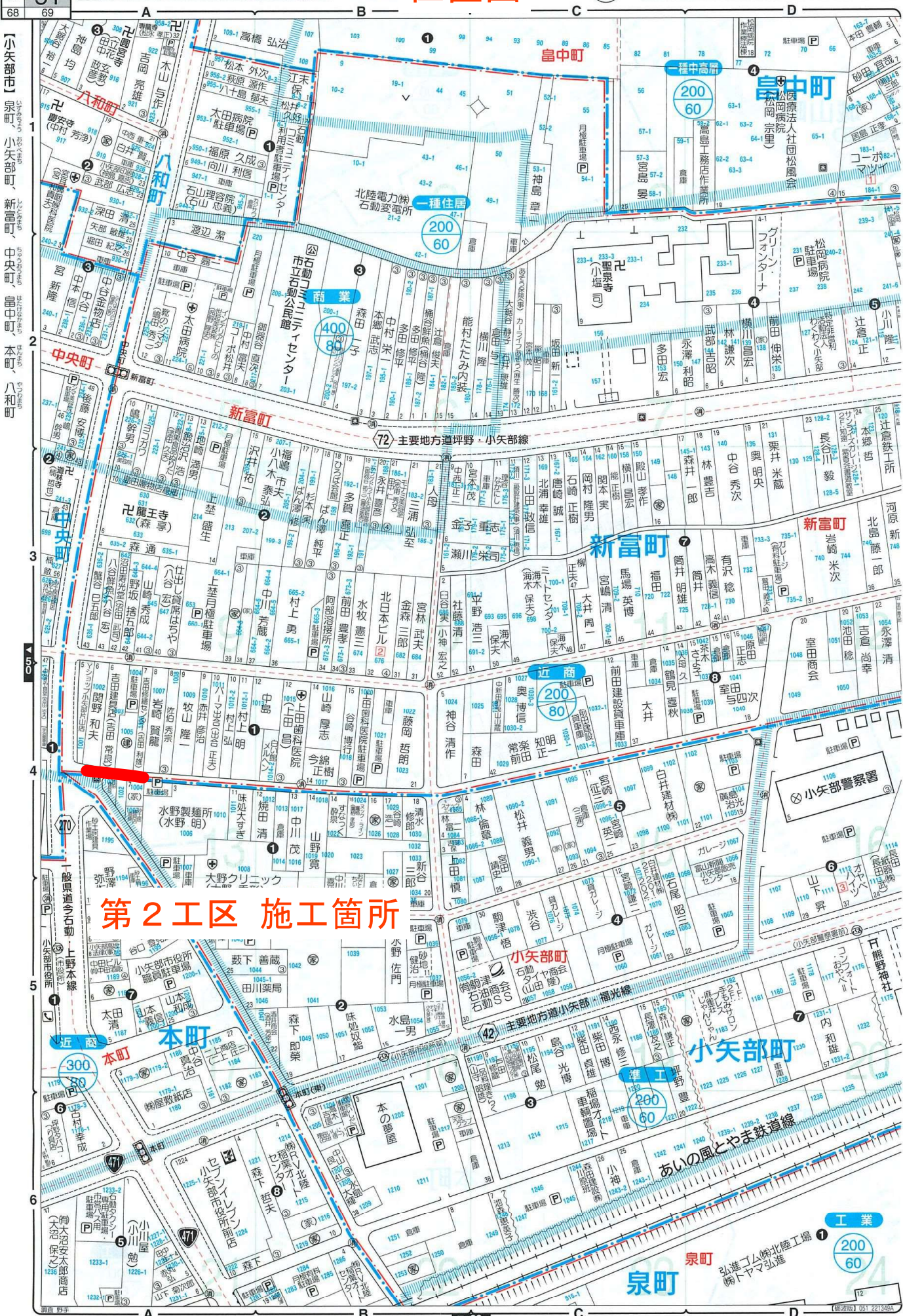


散 水 用 ノ ズ ル 位 置



			第2工区
工 事 名	山手学校路線外消雪施設管路リフレッシュ工事		
図 面 名	計画平面図・縦断面図・詳細図・標準断面図		
作成年月日	令和 4 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	2/2
事業者名	小 矢 部 市		





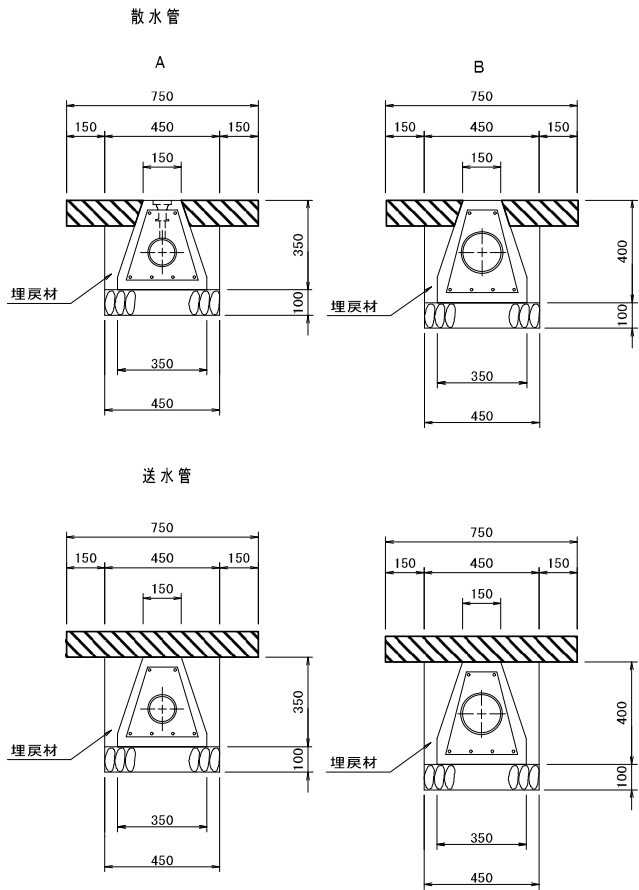
第2工区 施工箇所

種別の摘要箇所、管径

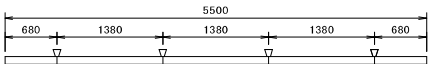
種別	摘要箇所	管径
A	車道部	VP65～125
B		VP150

単位 (mm)

施工断面図



散水用ノズル位置



名称 消雪パイプ（プレキャスト）散水部・送水部

〔設計条件〕

項目	設計値
設計輪荷重	車道 50kN
衝撃係数	0.4
コンクリート設計基準強度	40N/mm ²

〔適用範囲〕

1. 施工期間の短縮、施工条件を勘案し、使用する。
2. 設計・施工は、「散水消雪施設設計施工維持管理マニュアル（散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会）」による。
3. ジョイント部は、「せん断」に対する対応を行っているものを使用する。
4. ノズル立ち上がり管の本管取り付け部の構造については、「ネジ込み式ソケット」と同等の強度があるものとする。
5. 国道、県道、市道において設置から3年以上経過しても水漏れ等の異常が発生していないものとする。

〔仕様〕

1. 管の材料は、樹脂管（VP）を標準とし、管径は、VP65A～150Aとする。
2. 基礎材は再生砕石（RC-40）を標準とし、施工にあたっては十分締め固めを行う。
3. 基礎材の厚さは10cm程度とし、施工幅は施工に必要な余裕（5cm程度）をもたせる。
4. ブロック据付面と路面高との調整は、敷砂、敷鉄板、コンクリートブロック等を設けて施工する。
5. ブロック据付後、ブロック側面はモルタル等の間詰材を充填し十分締め固めを行う。
6. 舗装構成は原則として現況舗装構成に合わせ、施工にあたっては、十分締め固めを行う。
7. ブロックとブロックの間には伸縮目地を設けることとする。目地材は、瀝青繊維質材とし、厚さt=10mmを標準とする。
8. 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

年度

事業名

工事名

箇所

市

町

地内

図面

図面番号

枚の内

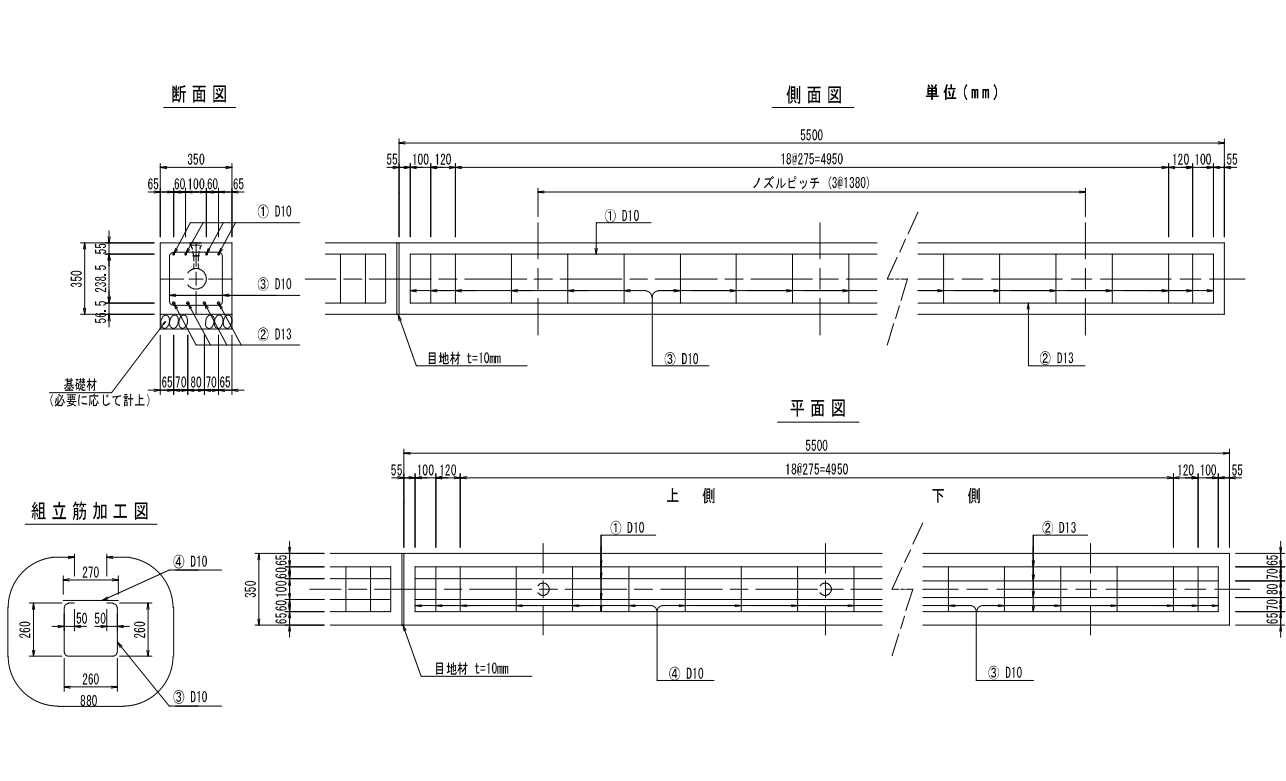
富

山

県

名 称

消雪パイプ標準図シングル配管 車道部 VP150以下



鉄 筋 表

5.50m 当り						
番号	鉄筋	本数	長 さ (mm)	単位質量 (kg/m)	質 量 (kg)	摘 要
1	D10	4	5,390	0.560	12.074	_____
2	D13	4	5,390	0.995	21.452	_____
3	D10	23	880	0.560	11.334	□
4	D10	23	270	0.560	3.478	—
				D13 以下 = 48.338kg		
※55.0m 当り		D13 以下 = 483.380kg				

(注) 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

コンクリート等数量表

5.50m 当り						
	65	75	100	125	150	摘 要
全体断面積	① 0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	0.35×0.35 m ²
パイプ断面積	② 0.0045	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	πd ² ÷4 m ²
実断面積	③ 0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	① - ② m ²
コンクリート体積	④ 0.649	0.640	0.618	0.589	0.556	③ × 5.50 m ³
※ 55.0m 当り	6.49	6.40	6.18	5.89	5.56	④ × 10 m ³
※ 目地材	10箇所 (55.0m/5.50m) × 0.123m ² = 1.23m ² t = 10mm					
※ 路盤紙	0.35 × 55.0m = 19.25m ²					

(注) 1. 基礎クラッシャーランを入れる場合は路盤紙を計上しない。
2. ※印 55.0m 当りの数量を示す。

設 計 条 件	
設 計 輪 荷 重	50 kN
衝撃係数	i = 0.4
コンクリート強度	(30-8-25) σ _{ck} = 30 N/mm ²
コンクリート物の分類	小構造物 (Ⅰ)
鉄筋の許容引張応力度	(SD295A) 180N/mm ²

〔適用範囲〕

1. 施工期間の短縮、施工条件を勘案し、使用する。
2. ジョイント部は、「散水消雪施設設計施工維持管理マニュアル (散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会)」によるとともに、「せん断」に対する対策を行っているものを使用する。
3. ノズル立ち上がり管の本管取り付け部の構造については、「ネジ込み式ソケット」と同等の強度があるものとする。
4. 国道、県道、市道において設置から3年以上経過しても水漏れ等の異常が発生していないものとする。

〔仕様〕

1. 管の材料は、樹脂管 (VP) を標準とし、管径は、VP65A~150Aとする。
2. 基礎材は再生砕石 (RC-40) を標準とし、施工にあたっては十分締め固めを行う。
3. 基礎材の厚さは10cm程度とする。
4. 地盤反力係数2×10³ kN/m²以上の地盤に適用する (よく締め固められた砂混じり砂利)。

年度			
事業名			
工事名			
箇所		市	町 地内
図面			
図面番号		/	枚の内
富		山	県